

## 2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 3 月 22 日作成)

小委員会名	ラーバンデザイン小委員会	主 査 名：鎌田元弘 就任年月：2002 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	農村計画委員会	委員長名：伊藤庸一
設 置 期 間	2002 年 4 月 ~ 2006 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	日本型ラーバンの研究フレームの整理 海外事例に見るラーバンの要件整理 ラーバンデザインのためのコンセプト構築 ラーバン実現化のための諸問題の検討	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有 鎌田元弘(千葉工大)・神田徳蔵(東京理科大)・相羽康郎(東北芸工大)・浦山益郎(三重大)・加藤正之(株加藤正之建築研究所)・蟹江好弘(足利工大)・斎尾直子(筑波大)・坂本淳二(広島国際大)・佐久間康富(早稲田大)・竹内壽一(株竹内建築総合研究所)・武部瑞子・栃倉肇(株大広)・波多野憲男(四日市大)・前田真子(奈良女子大学)・三国政勝(千葉大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	ラーバン出版WG：研究成果を出版物にまとめること	
2005 年度予算	130,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.ajj.or.jp/nouson/s0/">http://news-sv.ajj.or.jp/nouson/s0/</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (WG および年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 日韓公開研究交流会「日韓のラーバンの課題と展望」 参加者数 10 名 (韓国側 20 余名)
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 日本型ラーバンの研究フレームの整理：出版原稿において達成 2. 海外事例に見るラーバンの要件整理：達成 (ラーバン日韓交流実現) 3. ラーバンデザインのためのコンセプト構築：出版原稿においてほぼ達成 4. ラーバン実現化のための諸問題の検討：出版原稿においてほぼ達成
委員会活動の問題点・課題	1. 委員が全国に分散しており、全委員が集まる委員会が開けなかったこと。 2. 都市計画委員会と農村計画委員会の両委員会のメンバーからなる小委員会であるが、都市計画委員会からの委員の出席が不十分であった。